

11 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程における研修生募集の概況

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程 佐藤雅子 栗生田友子 横田陽子
金子育世 篠崎菜穂子 堀岡美由紀 粕谷陽子 堀 房子

1. はじめに

本教育課程は日本看護協会が認定する教育機関として認定され5年となる。急性期から生活期までの全般に対応できる高度な知識と技術を持った認定看護師を育成している。対象になるのは、現在看護師として働いている者であり、日本看護協会認定部が規定する条件を満たした者である。だれでもが希望して受験できるわけではない。また年齢層の幅も広い。平成23年の開講当時から研修生の確保に努力をつづけている。研修生となる対象が現職の看護師であることは、募集方法に独自の手法が必要である。研修生募集の方法には苦慮せざるを得ない課題が残る。

2. 募集活動の実際

入学した研修生は第1期生10名、第2期生13名、第3期生15名、第4期生10名、第5期生8名である。教官の入れ替わりはあったものの、研修生はしっかり成長し、修了生は認定看護師としてすばらしい活躍をしている。開校以来研修生の定員は20名のところ満たされていない。全国6教育課程も同じ状況で欠員が続いている。募集の告知先は各都道府県看護協会、関連する病院施設、学会、地域近隣施設である。また関連する商業誌への広告掲載も行った。以上のように周知には教官職員一同奔走した。さらにホームページの改善、学会、研修会でのPR活動を進めた。順次知名度は上がり、専門職育成の意欲の高い医療機関からは評価を得ている。しかし定員の確保には至っていない。

直接施設訪問も行った。医療現場の実情を聴くことができ、情報交換にもなった。病院や看護部運営の困難さや、人材育成の状況など聞きながら、教育課程の良さを認識してもらう機会にもなった。直接会って話をし、教育課程の活動を告知する効果はある。

また、平成25年、平成26年に続き、日本リハビリテーション学会に、リハビリテーション看護研修会に会場配布、郵送、全国看護協会、全国の関連病院施設へ募集用当と案内チラシを配布した。施設訪問は昨年と同様に現在進行中であるが、特に東北方面に伺うこととしている。

また今年の新たな活動は学院養成学科と共に学校説明会、オープンキャンパスを同時開催したことである。ホームページ上での告知は効果があり、現場の看護師から早々に直接5件の問い合わせがあった。

3. 課題

ホームページの充実、教育環境の資源を活かす告知方法の獲得が課題である。修了生の協力、実習施設との信頼関係の中で研修生を確保する方法もあろう。さらに、個人戦略をいかしつつ、同時に組織での中長期的視野で目標を持ち計画的に進めることを検討したい。